

平成 30 年 7 月 24 日
運輸安全委員会

成田国際空港で発生した大韓航空機の航空重大インシデントに関する情報提供

運輸安全委員会は、6 月 29 日に成田国際空港で発生した大韓航空機の航空重大インシデントに関し、7 月 24 日、国土交通省航空局へ情報提供を行いました。

1. 航空重大インシデントの概要

大韓航空所属ボーイング式 777-300 型 HL7573 は、6 月 29 日（金）同社の定期便 KAL703 便として、12 時 37 分に成田国際空港に着陸後、地上走行中、右主脚の損傷により誘導路上に停止した。

2. 調査内容

これまでの調査の結果、以下の事実が判明した。（別添参照）

- ・ 右主脚後方の車軸が折損していた。
- ・ 折損部の破面の一部が黒く変色していた。
- ・ 当該車軸は平成 21 年 7 月に右主脚の交換により取り付けられたものである。

折損の原因等については今後詳細な調査を行う予定である。

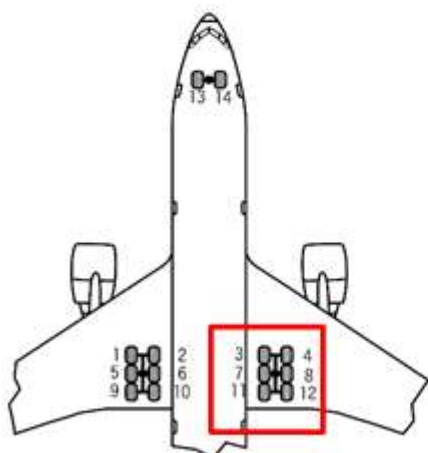
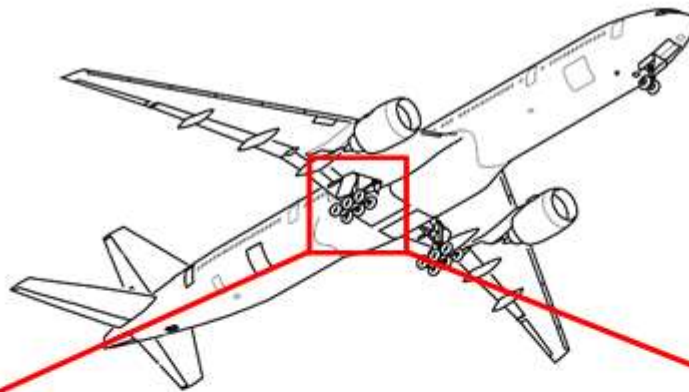
3. 情報提供

上記調査内容について、7 月 24 日付けで首席航空事故調査官から航空局安全部運航安全課長あて情報提供を行った。

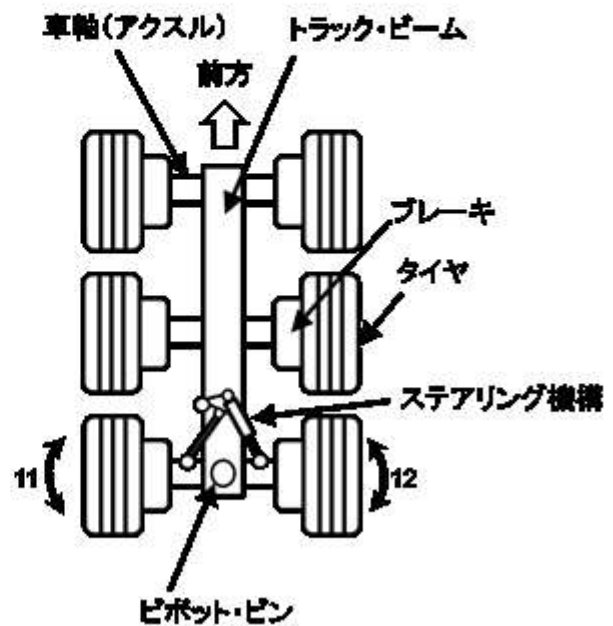
【問い合わせ先】

運輸安全委員会事務局 広報室 沖、祖父江

電話 03-5253-8819（直通） FAX 03-5253-1680



各タイヤに割り振られた番号







折損部の破面の一部が黒く変色していた。